

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(秋田県 令和元年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時(平成28年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	目標値(令和元年)	達成率				計画時(平成28年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	目標値(令和元年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
鹿角市	株式会社バイテックファーム鹿角	野菜(レタス類)	野菜の出荷量のうち加工向け又は外食・中食向けの割合を5ポイント以上増加	0.0%	0.0%	99.7%	99.2%	25.1%	395.2%	地元スーパーの一部小売向け以外は、ほぼ全量の中食向け業務用として出荷	野菜の出荷量のうち契約取引が占める割合を10%以上とすること	0.0%	0.0%	100%	100%	50.1%	199.6%	生産技術高度化施設(完全人工光型植物工場) 鉄骨平屋一部2階建 3,648.78㎡ 作付面積0.7ha、生産量522t/年	1,695,600,000	746,700,000	0	0	948,900,000	H30.11.15	生産技術高度化施設(完全人工光型植物工場)の整備によって、季節や天候に左右されず、レタス類の周年栽培が可能となった。更に独自に品質安定化や作業標準化を徹底して、グローバルGAP認証を取得(平成31日4月5日)し、消費者の求める安心・安全・高品質で均一化されたレタス類を生産することにより、地元産として、また植物工場産野菜として、実需者から評価を得ている。	成果目標の野菜の出荷量のうち加工向け又は外食・中食向け割合の増加については、地元スーパー向け以外は、大半を大手コンビニ向けサンドイッチ/サラダ加工用として出荷しており、大幅に目標を達成している。	契約取引が占める割合増加については、大手コンビニを中心に大口の取引先との契約取引が進んでいるため、全量契約取引となっている。	また、レタス類の需要が多いことから、当初計画よりも雇用人数を増やすなど、地域の雇用創出につながっている。	ただし、成果目標は達成しているものの、出荷量は計画値に達していないことから、当該法人と連携しながら、製品歩留まりや収量向上に向けた技術課題の解決策を支援していく。

都道府県平均達成率	100.0%	総合所見	<p>○植物工場は、気象要因に左右されることなく安定生産が可能で、契約取引と組み合わせることによって、通年で計画生産・販売が可能となっており、雇用創出にも繋がっている。</p> <p>○他方で、生産コストが概ね固定されていることから、収益を確保するためには、計画数量を如何にして達成するかが重要である。</p> <p>○株式会社バイテックファーム鹿角においては、既存の植物工場で得られたノウハウを活用しながら、早期に収益が確保できるように、引き続き課題解決を支援していく。</p>
-----------	--------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
 2 要綱第3の4の(2)のAのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。